

「ディスカバー農山漁村の宝」(第3回選定) 選定地区一覧

(注) 桃色で囲まれた地区は、全国の各ブロックで評価が最も高かった地区

No.25 高知県 南国市

CLT建築推進協議会
新たな木材需要の拡大に向けた
CLTの推進

No.26 高知県 越知町

株式会社 岡林農園
柑橘の6次産業化による放棄地の再生と
雇用創出

No.27 福岡県 久留米市

城島町土地改良区
蘇る酒どころ城島、豊かな環境を
次世代へ繋ぐ城島！

No.28 大分県 宇佐市

NPO法人 安心院町
グリーンツーリズム研究会
グリーンツーリズム発祥の地「安心院町」

No.29 宮崎県 高千穂町

高千穂ムラたび協議会
限界集落が挑戦する 未来のムラづくり

No.30 沖縄県 伊江村

有限会社 タマレント企画
小さな「シマ」から日本一の島を目指し
て！

No.20和歌山県 紀の川市

紀の里農業協同組合
農業体験で、都市と農村、人と人をつなぐ

No.21 岡山県 美作市

特定非営利活動法人
英田上山棚田団
住んで良し、来て楽しい、新しい村づくり

No.22 広島県 安芸太田町

津浪振興会
農村の原風景が保存され誇りの持てる
「安らぎの里つなみ」づくり

No.23 山口県 山口市

山口とくち和紙振興会 結の香
山口とくち和紙を世界へ発信

No.24 徳島県 那賀町

木頭ゆずクラスター協議会
6次産業化を核とした
「木頭ゆず」産地の活性化

No.16 三重県 鳥羽市

鳥羽マルシェ有限責任事業組合
きらり輝く鳥羽で「食」のしあわせづくり

No.17 兵庫県 養父市

畑特産物生産出荷組合
集落ビジネスによる地域活性化
～朝倉山椒を海外へ～

No.18 奈良県 山添村

山添村波多野地区
活性化協議会「かすががーでん」
農業体験で茶畑を再生
「世界一の紅茶・紅萋復活」

No.19和歌山県 有田川町

株式会社 ふみこ農園
農山漁村の活性化の源となるキッチン
の設立

No.14 岐阜県 恵那市

奥矢作移住定住促進協議会
めざそう空き家「ゼロ」の農山漁村

No.15 愛知県 豊根村

茶臼の里合同会社
じじばの耕作放棄地解消と都市との交流

No.12 富山県 魚津市

魚津漁業協同組合
魚津海物語
「おいしいお魚、まちおこし」

No.13 福井県 越前市

ロハス越前
日本一の伝統の技の宝庫を
海外に発信

No.8神奈川 伊勢原市

株式会社めぐり
新・都市型耕畜連携
～起業→信頼→笑顔がめぐる

No.9 長野県 飯山市

一般社団法人
信州いいやま観光局
グリーン・ツーリズムを核とした
日本版DMOのトップランナー

No.10 新潟県 十日町市

大地の芸術祭実行委員会
大地の芸術祭の里

No.11 新潟県 糸魚川市

シーフードカンパニー
能水商店
高校生水産会社で6次産業化
にチャレンジ

No.1 北海道 別海町

株式会社 べつかい乳業興社
「ミルク王国べつかい」の味を
お届けします。

No.2 北海道 芽室町

株式会社 九神ファームめむろ
誰でもが、当たり前前に働いて生きていく町

No.3 北海道 鶴居村

特定非営利活動法人
美しい村・鶴居村観光協会
2600人の小さな村で暮らす旅はいかが

No.4 青森県 弘前市

在来津軽「清水森ナンバ」
ブランド確立研究会
「清水森ナンバ」で体も地域も温まる

No.5 秋田県 仙北市

仙北市農山村体験推進協議会
仙北市グリーンツーリズム
～農村でみんな笑顔に～

No.6 山形県 川西町

東沢地区協働の
まちづくり推進会議
自信あります東沢・食と自然と・
あたたかさ

No.7 群馬県 渋川市

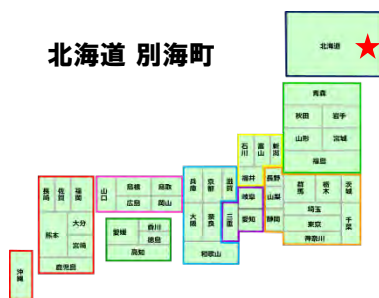
農業生産法人
株式会社 赤城深山ファーム
そば屋のニーズから生まれた
赤城深山そばを全国に発信！



輸出

地産地消

研修



株式会社 べつかい乳業興社

「ミルク王国べつかい」の味をお届けします



乳製品づくり体験



アイスクリームの輸出



安全で良質な乳製品

概要

- 牛乳をはじめ、バター、チーズ等乳製品を製造。道内の和洋菓子店や飲料メーカー等と連携し新商品を開発
- 平成25年よりベトナムにアイスクリームを輸出
- 乳製品加工研修施設を運営し、地域の牧場経営者等を対象にチーズづくり等の指導

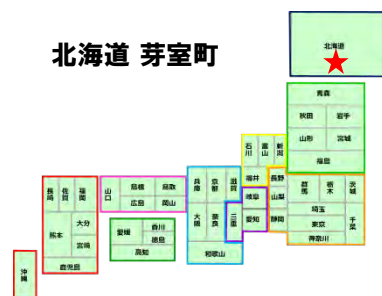
成果

- 乳製品を核に地産地消による地域経済の循環に寄与
- べつかいブランドを確立し、国内外の販路が拡大。売上げが約4億9千万から約5億2千万円に増加（H25-27）。アイスクリームの輸出も約6百個から約3千個と約5倍増加（H25-27）
- 地域の乳製品関連産業の発展・向上に寄与

「食」の
提供・活用

高齢者の
活躍

医療・福祉



株式会社 九神ファームめむろ

誰もが、当たり前のように働いて生きていける町



高齢者や障がい者の雇用の場を創出



地域の農産物を惣菜等に加工



社員旅行など充実した福利厚生の実現

概要

- イモ類など農業生産のほか、惣菜用の製造、レストラン事業など6次産業化
- 農作物の生産を核に、加工、調理、接客、販売まで食に関する一連の流れに障害者や高齢者が参加
- 障害者に対し月10万円を超える給与のほか、社会保険、有給休暇、社員旅行など充実した福利厚生を提供

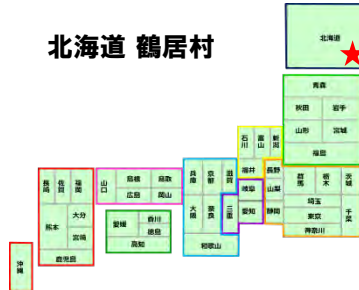
成果

- 障害のある従業員が9人から20人と約2倍増加（H25-27）
- 月当たりの惣菜の生産量が約5トンから約10トンに増加（H25-27）。月当たりの売上は約2百万円から約3百万円に増加（H25-27）
- 惣菜加工工場により、自家農作物のみならず地域の農作物も加工

自然・景観

インバウンド

地産地消



特定非営利活動法人 美しい村・鶴居村観光協会

2600人の小さな村で暮らす旅はいかがでしょう



鶴居版フットパス



長期滞在型観光モニターツアー



地場産野菜でランチ

概要

- 5泊以上の長期滞在型観光ツアーを実施
- タンチョウの観察、チーズづくり体験、フットパス等地域資源を活用した交流活動
- 農業者や商工業者など地域の多様な団体と連携し、農泊や商品企画、特産品販売など観光地づくり

成果

- 長期滞在型観光ツアー参加者が12人から68人と5倍以上増加（H23-27）
うち、外国人の長期滞在型観光ツアー参加者も増加傾向
- 鶴居村の観光入り込み客数が約17万人から約19万人に増加（H24-27）

「食」の
提供・活用

6次産業化

企業



ざいらいつがる
在来津軽

「清水森ナンバ」ブランド確立研究会

「清水森ナンバ」で体も地域も温まる



概要

- 生産量が激減していた地域伝統食材の清水森ナンバ（トウガラシ）を復活
- 栽培の普及のほか、食品加工業者、飲食店、大学等と連携し、商品開発や体験学習を実施
- 「清水森ナンバ」を商標登録し、他の品種と交雑しないような栽培、他のトウガラシが混入しない製品販売などブランド管理を徹底

成果

- 清水森ナンバの生産者が54人から76人に増加するとともに、生産量が8トンから18トンと約2倍増加（H23-27）
- 加工業者が4業者から30業者と7倍以上、加工量が5トンから17トンと約3倍増加（H23-27）
- 開発商品が、ご当地グリーンカレーレシピコンテストで最優秀賞、日本おみやげアカデミーグランプリで金賞受賞

伝統・継承

観光

子ども
(教育・体験)



仙北市農山村体験推進協議会

仙北市グリーンツーリズム～農村でみんな笑顔に～



受入農家による農業体験



外国人観光客の受入



農家民宿

概要

- 農山村宿泊体験受入団体と体験指導団体、サポート団体による活動の一本化
- 農家民宿のレベルアップに係る取組、教育旅行等の受入に対する調整、イベント、農家レストランの情報発信
- 外国人受入調整や受入体制強化に関する取組

成果

- 教育旅行の受入が約9千人から1万6千人と増加（H23-27）。農泊宿泊者数が約8千人から約9千人に増加（H23-27）
- 農家によるフェイスブック等SNSでの積極的な情報発信により、外国人旅行者等のリピーターの受入が拡大
- 宿泊者数のうち外国人の農家民泊宿泊者数も約3百人から約8百人に増加（H23-27）



山形県 川西町

「食」の
提供・活用

子ども
(教育・体験)

6次産業化



東沢地区協働のまちづくり推進会議

自信あります東沢・食と自然と・あたたかさ



26年続いている山村留学



稲刈り交流会



イルミネーションでの地域づくり

概要

- 中山間地域の地域住民が、豊かな食と自然を守り育て、都市住民や消費者と交流する地域づくりに取組
- 東京都町田市の子供を対象に長期・短期の山村留学等交流事業を実施
- 地域づくり活動のシンクタンクを設立し、地域の米や農作物のブランド化、販売企画、インターネットによる情報発信をプロデュース

成果

- 山村留学等により交流人口が約1千4百人から約1千7百人に増加（H23-27）
- 交流事業から、関係者の紹介で大手おにぎり専門店と米の取引を開始
- ブランド化された農作物や加工品はおにぎり専門店やデパート等に販売され、売上は7千万円から9千万円と増加（H23-27）

自然・景観

6次産業化

女性の活躍



農業生産法人 株式会社 赤城深山ファーム

そば屋のニーズから生まれた赤城深山そばを全国に発信！



赤城深山そばの栽培



耕作放棄地解消前

耕作放棄地解消後

概要

- 積極的に耕作放棄地を借り受けそばを栽培。
- 東京のそば老舗店のニーズに即した製粉調整、製造行程管理を徹底
- 従業員の半分以上が女性で、加工や販売だけでなく管理職においても女性が活躍

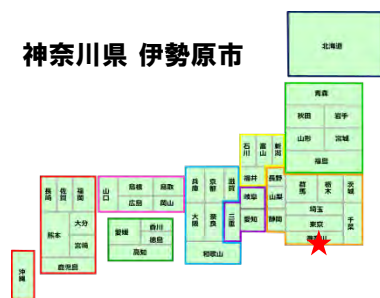
成果

- 平成27年までに耕作放棄地13haが解消。耕作地面積も42haから96haと約2倍増加（H23-27）
- 5年間の販売額は約3千万円から約8千万円と約3倍増加（H23-27）
- 介護育児と仕事の両立する中で、JA青年部に加入する女性がいるなど地域農業の場で活躍

企業

6次産業化

都市農業



株式会社めぐり

新・都市型耕畜連携
～起業→信頼→笑顔がめぐる～



店内は老若男女多くの客でにぎわう



「ジェラート屋めぐり」

企業と連携した農業体験イベント

概要

- 9戸の農家が出資によりジェラートの製造・販売事業を展開
- 地域農家と連携し、月に2～3種類フレーバーを入れ替えるなど旬のジェラートを製造
- 他社ブランドのジェラート開発、他企業と連携した農業体験イベントを実施

成果

- 生産者が株主になることで、会社成長のモチベーションが向上。売上げも約2千万円から約2千4百万円と増加（H23-27）
- 提携農家から直販できないB級品も含めて農作物を仕入れ、所得の向上に貢献し、提携農家は、9戸から18戸と2倍に増加（H23-27）
- 他社の商品開発や他社経営のカフェの集客増に寄与

観光

インバウンド

女性の活躍



一般社団法人 信州いいやま観光局

グリーン・ツーリズムを核とした
日本版DMOのトップランナー



笹寿司づくり体験



わら細工体験



海外からの学生団体受入

概要

- 50ほどの旅行プランをホームページで案内し、申し込みから決済まで行うことができるシステムを構築
- 国内外のインバウンド商談会へ出展、宿向けの英語教室など外国人受入体制を整備
- 女性ならではのアイデア等で食の体験商品の開発、チラシ、ポスターの制作

成果

- 旅行プランの利用者は186人から564人と約3倍増加（H23-27）
- 外国人の旅行者の受入数が171人から837人と約5倍増加（H23-27）
- 観光協会や宿泊施設等との連携により地域全体の誘客数の増加、多様な旅行プランは通年の収益確保に貢献

自然・景観

観光

その他
(アートによる
地域活性化)



大地の芸術祭実行委員会

大地の芸術祭の里



概要

- アートを通じて地域の魅力を掘り起こし地域再生につなげる「大地の芸術祭の里」を実施
- 地域住民が地域外の人と一緒に作品を制作し、里山や集落、住宅地など広域に展開
- 出資のほか農作業体験など棚田のオーナー制により、棚田を維持管理

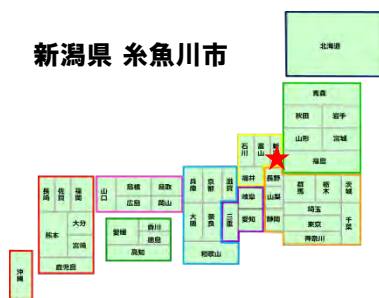
成果

- 参加集落が92集落から110集落と増加（H21-27）、展示作品数も年々増加するなど地域密着型の取組に成長
- 芸術祭会期中の作品訪問者数が延べ約37万人から約51万人と増加（H21-27）
- 芸術祭がきっかけとなって、平成27年までに16人以上の若者が移住

学校・企業

6次産業化

子ども
(教育・体験)



シーフードカンパニー 能水商店

高校生水産会社で6次産業化にチャレンジ



魚醤の輸出に向けた海外での市場調査



高校生が開発した魚醤



市外イベントへ出展

概要

- 起業家精神育成教育を推進するために海洋高校同窓会と糸魚川市が連携し設立
- 地域水産資源を利用した水産加工品の研究開発、製造販売に海洋高校生が製造部及びマーケティング部の業務に関わり
- イクラを取り除いた後、廃棄されていた魚体を活用して魚醤を開発・販売

成果

- 魚醤の販売数が約2千本から約1万6千本と約8倍増加（H26-27）
- 魚醤の需要の高まりにより、高校生のみでは事業運営ができなくなり、4人のパート従業員を雇用
- 海洋高校生がイベントや小売業者、飲食店に営業を行いソーシャルスキルの向上と起業家精神を向上

「食」の
提供・活用

6次産業化

地産地消



うお づ 魚津漁業協同組合

魚津海業物語「おいしいお魚、まちおこし」



ウマヅラハギをブランド化した「魚津寒ハギ」



ウマヅラハギを利用した定食や加工品



給食に寒ハギフライの提供

概要

- 漁獲量の半分以上を占めるウマヅラハギの価値を見直し、品質管理を徹底し、大きさにより呼称を代えるなどブランド化
- 市内飲食店と連携し、和洋中の様々なメニューの開発を実施
- 料理教室の開催や市内飲食店、小売店等と連携し、魚食の普及促進

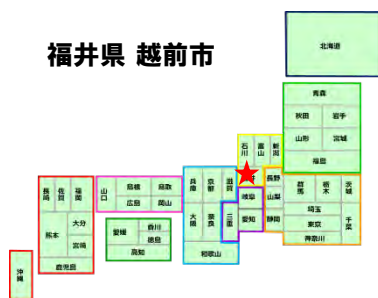
成果

- ウマヅラハギのブランド化の取組により、魚価が900円／kから1,200円／kと1.3倍に上昇（H23-27）
- 漁協女性部がレシピ監修した魚津バイ飯は、「魚の国のしあわせfish-1グランプリ」で準グランプリを獲得
- バイ飯は、北陸道SAで販売されるなど、3万5千食を売上（H27）

伝統・継承

インバウンド

子ども
(教育・体験)



えち ぜん ロハス越前

日本一の伝統の技の宝庫を海外に発信



概要

- 農家に泊まって農業や自然体験、伝統産業体験を行うグリーン・ツーリズムを展開
- 旅行会社とタイアップした田舎暮らしツアーの受入、東京、中京方面・関西方面の子供の体験ツアーの受入

成果

- 子供の体験ツアーが144人から386人と約3倍増加（H23-27）、台湾からの教育旅行74人（H27）を受入れ
- 地域住民が地域の良さ、食の豊かさを再認識

雇用

6次産業化

定住・移住



おくや はぎ 奥矢作移住定住促進協議会

めざそう空き家「ゼロ」の農山漁村



概要

- 移住希望者が購入・賃借した空き屋を、地元大工の指導のもと古民家リフォーム塾参加者やボランティアが改修
- 移住前に地域の文化や自然を体験するイベントを開催し、メリット・デメリットを含めた地域を体感する機会を創出
- 移住後は、就農・就労のほか、田舎ぐらしを支援するとともに、地域の山林再生に取り組む

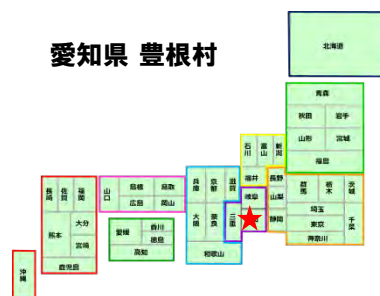
成果

- 活動により65名が移住し、最大36軒あった空き家が残る4軒に減少（H23-27）
- イベント等による交流人口が約1千人から約7千人と約7倍増加（H23-27）
- 平成26年度は若者2名が就農、平成27年度は2名が林業に就職

「食」の
提供・活用

6次産業化

農林漁業
体験



茶臼の里合同会社

じじばばの耕作放棄地解消と都市との交流



概要

- 地域住民が合同会社を立ち上げ、道の駅の販売部門を請け負い、地元野菜等の販売やレストランを運営
- 耕作放棄地を借り上げ米作りを行い、道の駅やイベントで郷土料理「五平餅」として販売
- 田んぼオーナー制度を活用し、年4回交流事業を実施

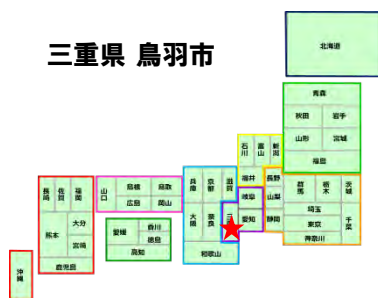
成果

- お祭りなどの村内外のイベントへも積極的に参加し、農産物の売上げが約5百万円から約3千万円と約6倍に増加（H23-27）
- 2haの耕作放棄地が農地として再生
- 田んぼオーナー制度の取組により年間延べ約1千人の交流人口

「食」の
提供・活用

6次産業化

地産地消



と ば 鳥羽マルシェ有限責任事業組合

きらり輝く鳥羽で「食」のしあわせづくり



新鮮な農産物をマルシェで提供



生産者がPRに取り組む加工品

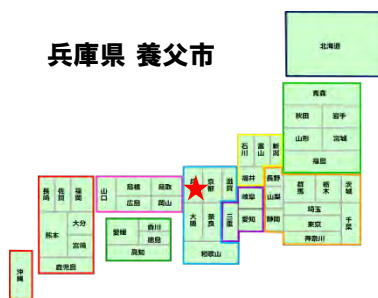
ジャムなどの加工事業で6次産業化

概要

- 地元の農業協同組合と漁業協同組合が農水産物等の価格低迷や後継者不足等の課題解決に向け、有限責任事業組合を設立
- 鳥羽市農水産物直売所の指定管理者となり、農水産物等の直売やレストラン・惣菜事業を推進
- 自家消費が中心だった地域の生産者から農産物等を買取り、生産者の所得向上に貢献

成果

- 生産者が製造した加工品の預かり販売を実施するなど生産者の6次産業化を支援
- 直売部門の売上げが約3千万円から約8千万円、レストラン来店者数が約1万2千人から約3万2千人とそれぞれ約3倍増加（H26-27）
- 地域の出荷生産者数が152人から205人と増加（H26-27）



はた 畑特産物生産出荷組合

集落ビジネスによる地域活性化
～朝倉山椒を海外へ～



海外のバイヤーと商談



朝倉山椒の収穫作業



障がい者の新たな仕事の創出

概要

- 大学等の協力により地域で生産される朝倉山椒を使った新商品の開発
- 直売所等による販売のほか、ミラノ万博関連イベントに出展、イタリアに商品を10kg輸出（H27）
- 山椒の1次加工について、障害者団体に委託を行うなど農と福祉の連携に係る取組を実施

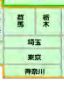
成果

- 新商品の開発・発売後売上が伸び、約1千万円から約1千5百万円と約1.5倍に増加（H24-27）
- 輸出など新たな販路拡大、農福連携による社会的貢献など集落の活気が再生
- 山椒加工重量は、1トンから1.5トンと約1.5倍増加（H24-27）。山椒の生産量増加により耕作放棄地が平成27年まで35アール減少（H24-27）

子ども
(教育・体験)

6次産業化

その他
(お茶産業の復活)



山添村波多野地区活性化協議会 「かすががーでん」

農業体験で茶畑を再生「世界一の紅茶・紅萐復活」



茶摘み体験の様子



「紅萐」復活プロジェクト



郷土料理体験

概要

- 耕作放棄地を借り受け、都市住民の農作業体験活動を通じた農地再生活動、郷土料理の体験を実施
- 再生した茶園において、茶摘み、手もみ体験を実施するとともに、生産された茶葉から紅茶を製造・販売
- かつてロンドンの品評会で最優秀と評価された品種の復活への取組

成果

- 農業体験者数が50人から500人と10倍に増加するとともに、農地再生面積が10アールから約50アールと約5倍に増加（H25-27）
- 技術的に難しかった「紅茶手もみ体験」が可能となり、体験者の増加に貢献
- 新たな地域の特産品として紅茶ブランドを復活させる取組に地域から熱い期待

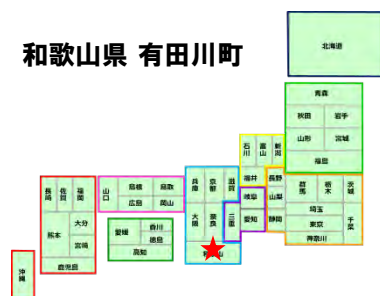


和歌山県 有田川町

「食」の
提供・活用

雇用

女性の活躍



株式会社 ふみこ農園

農山漁村の活性化の源となるキッチンの設立



和歌山県の特産品を使った加工品



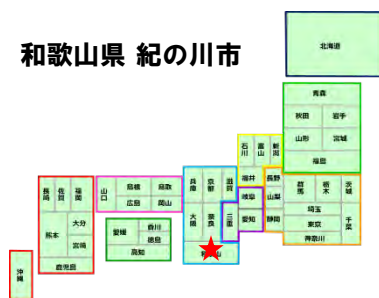
新工場も完成し生産量も増加

概要

- 地域の柿や桃、みかん等果物、梅などの農作物の加工品を製造
- 全国からの量販店、通信販売会社、百貨店の関係者を招き、自社商品のほか地域の商品の商談の場を提供し地域問屋業としての役割を発揮

成果

- あんぼ柿生産個数が9万個から14万個に増加（H23-27）
- 梅グラッセの漬け込み量が32トンから85トンと約3倍増加（H23-27）したほか、柿チップの生産高が3トンから6トンと2倍増加（H23-27）
- 国際味覚審査機構、全国土産品協会、全国商工会の品評会で数々の賞を受賞



紀の里農業協同組合

農業体験で、都市と農村、人と人をつなぐ



果物の魅力を伝えるインバウンドツアー



植付から収穫までの体験農園

免税店登録した直売所

概要

- 直売所における販売事業のほか、体験交流事業を展開
- 田植えや稲刈りなどの農作業体験のほか、ジャム等の調理・加工体験、日帰りから農家民泊の活用など多様な交流プログラムを整備
- W i - F i 環境や免税店の登録などインバウンドツアーの受入も積極的に取組

成果

- 体験交流プログラム参加者は、約2千人から約3千人と増加（H23-27）
- 直売所の販売額は約26億円から約27億円と増加（H23-27）
- 様々な企業、団体、教育機関などと連携により、広報力が増加

特定非営利活動法人 英田上山棚田団

住んで良し、来て楽しい、新しい村づくり



再生した棚田の光景



都市住民との交流活動



海外との姉妹棚田提携

概要

- 都市住民と地域住民の棚田の維持に必要な水路掃除に係る交流から、企業等とも連携しつつ耕作放棄地の再生に係る取組に発展
- 獅子舞踊りの習得など地域で育んでいた文化や伝統の継承に取組
- 棚田等地域の自然・文化を資源としたエコツーリズムや農家民泊等インバウンドの受入体制の整備を推進

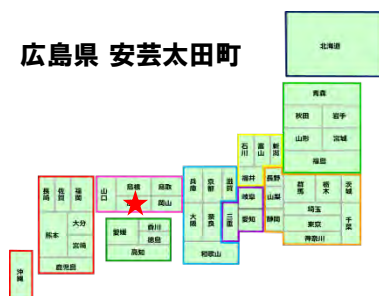
成果

- 一時は90%以上の棚田が放棄され草木に覆われていたが、ほぼ解消
- 棚田の景観を再生することで地域コミュニティが蘇り、8年間中断していた盆踊りが復活
- 棚田再生等交流活動や農作業体験への参加人数が、1千2百人から1千5百人と増加（H26-27）

自然・景観

伝統・継承

鳥獣被害防止



つなみ 津浪振興会

農村の原風景が保存され誇りの持てる
「安らぎの里つなみ」づくり



駅跡地を活用した交流施設



県無形民俗文化財の太鼓踊り



竹チップづくり作業と竹林伐採

概要

- JR津浪駅跡地に販売施設を整備し地域の野菜等を販売
- 竹チップを原料とした堆肥を製造・販売。
- 地域の伝統芸能である神楽体験や農泊の取組に協力

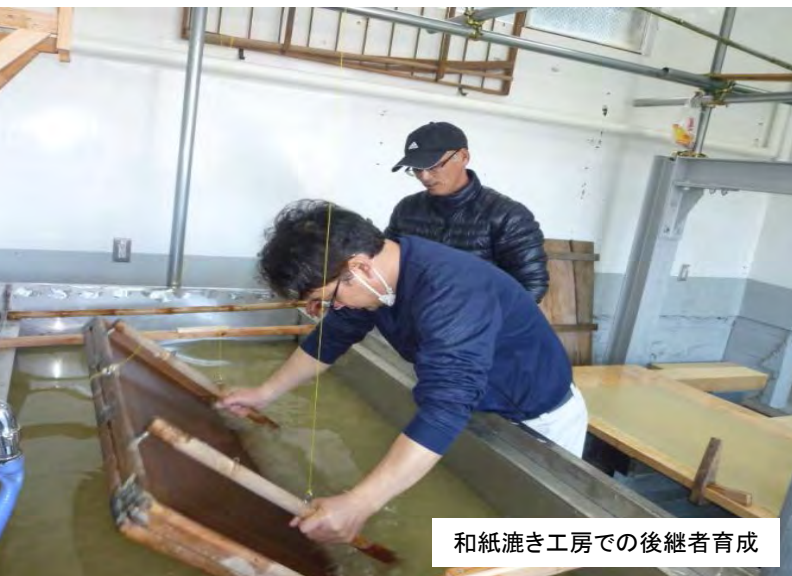
成果

- 販売施設の売上が約1千万円から約1千8百万円と約2倍増加（H23-H27）するなど、地域活性化に貢献
- 竹林が整備され、バッファゾーンの効果により、猿や、イノシシ等の有害鳥獣対策に効果
- 神楽体験の取組は、教育旅行生や訪日外国人旅行者に好評



山口とくち和紙振興会 結の香

山口とくち和紙を世界へ発信！



和紙漉き工房での後継者育成



徳地和紙を使った商品

和紙原料の三桧(みつまた)苗の植付け

概要

- 室町時代から続く「徳地和紙」の存続のため、和紙製造者のほか、大学、NPO法人等地域住民が取組
- 原料生産から和紙漉き、商品化、販路開拓を一貫して実施
- 外国人の和紙漉き体験やJETROの海外バイヤー商談会に商品を出品するなどインバウンドや輸出にも取組

成果

- 和紙の原料となる椿、三桧の栽培面積が1.2haから2.1haと増加（H23-27）
- 和紙漉き技能者が3人から7人と約2倍増加（H23-27）
- 団扇をシンガポールの会社に委託販売する商談が進行中

6次産業化

農商工連携

輸出



きとう 木頭ゆずクラスター協議会

きとう 6次産業化を核とした「木頭ゆず」産地の活性化



概要

- 那賀町で青果主体で生産されてきた「木頭ゆず」について農業協同組合と地域企業が連携し、加工品を開発・販売
- 消費者を対象としたゆずを用いた郷土料理の普及活動、全国商談会への出展や百貨店で「木頭ゆずフェア」を開催するなど販路拡大に向けPR
- フランスの外食産業をターゲットに青果ゆずを輸出

成果

- 地元JAによる加工原料の全量買い上げに繋がるとともに、加工用単価も77円/kgから131円/kgへ上昇（H25-27）
- 大手流通企業の缶チューハイ、ポン酢といったPB商品に採用
- フランスの有名シェフやバイヤーに高く評価され、輸出量が240kgから1,500kgに増加（H26-27）

雇用

地産地消

その他
(新たな木材需要の
創出)



CLT 建築推進協議会

新たな木材需要の拡大に向けたCLTの推進



概要

- 成熟化する我が国の森林資源を活かすため、CLT建築に産学官の連携で取り組み、CLT建築を普及促進
- 技術者の育成、CLTの普及のため、国内外の有識者による講演会、CLT建築物を実証フィールドにした技術研修会等を実施
- 設計や施工のノウハウの取得や蓄積を図るため、実験データの取得など具体的なサポートを実施

成果

- 協議会の設立後、高知県内に6つのCLT建築物が完成するなど、全国的にCLT建築物が多い地域
- 研修会には県内外から参加者があり、実施回数が2回から7回と約3倍増加（H25-27）
- 協議会の活動において取得した実験データは公開し、普及促進

雇用

6次産業化

輸出



株式会社 岡林農園

柑橘の6次産業化による放棄地の再生と雇用創出



概要

- 柑橘農家が平成21年より6次産業化と耕作放棄地の再生に取り組む
- 「飲むジュレ」等毎年商品開発に取り組み、国内での販路拡大のほかオーストラリア等4カ国に輸出
- 耕作放棄地を借り上げ、重機での開墾、柑橘苗を定植

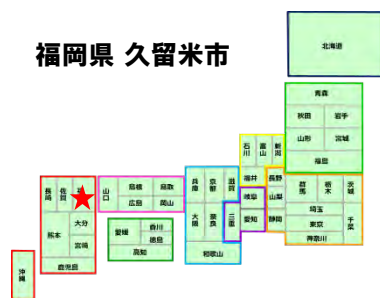
成果

- 6次産業化、販路の拡大により売上が約7千万円から約1億5千万円と約2倍増加（H23-27）
- 売上のうち輸出額においても、約46万円から約1千2百万円と約26倍に増加（H23-27）
- 毎年、耕作放棄地の開墾を行い、平成27年までに約7ha耕作放棄地を再生

自然・景観

農商工連携

地産地消



城島町土地改良区

蘇る酒どころ城島、豊かな環境を次世代へ繋ぐ城島！



酒米づくりに必要な水質の浄化活動



大盛況な「城島酒蔵びらき」



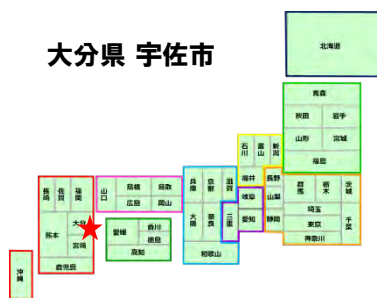
住民と共同で草刈作業

概要

- 地域の農業者と酒蔵・酒販売店による酒産地の復活に向けた取り組みを後押し
- 酒米づくりに必要な田んぼの水管理のための暗渠排水施設の整備、農業用水の水質の浄化を推進
- 住民を巻き込んだ草刈り作業や清掃作業、農地の維持管理活動や景観保全活動を展開

成果

- 酒米の圃場面積が、20アールから357アールと約18倍に増加（H24-27）するとともに、生産者も1戸から9戸に増加（H24-27）
- 圃場からとれた酒米は、品質が良好で酒製造会社から高い評価
- 農業用水の水質の浄化活動や草刈り等環境保全活動等の取り組みは、地域全体の環境意識を向上



NPO法人 あじむ 安心院町グリーンツーリズム研究会

あじむ
グリーンツーリズム発祥の地「安心院町」



概要

- 1日1組を原則として、農作業や料理づくり、食事などを通じて、農村のあるがままの暮らしを体験する農村民泊を実施
- 先進的な欧州の農村の姿を学ぶ欧州研修、おもてなしの質を高めるための農泊実践者向けの研修会を開催
- 農泊家庭の料理を120品集めた食のイベントや川歩きイベント等を開催

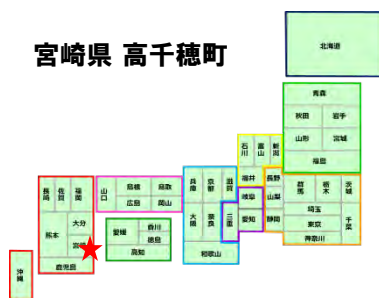
成果

- 平成8年には8軒だった農泊受入家庭が60軒に増え、年間延べ人数1万人が訪問
- 60軒の年間売上は平均で120万円あるなど所得向上につながっているほか、地域の農作物直売所等への地域経済波及効果も大きい
- 海外からの農泊客も約1千人から約2千人と約2倍に増加（H23-27）

観光

「食」の
提供・活用

6次産業化



た か ち ほ 高千穂ムラたび協議会

限界集落が挑戦する 未来のムラづくり



概要

- 若者を中心とした事業体制、製薬会社等専門機関との連携など体制を整え、あまざけやどぶろくを生産
- 川のりやはちみつなど希少食材を前面に、この集落でしか味わえない料理を農家民宿や古民家食堂で提供
- 棚田など山間地特有の農業景観、秋元神社等神話史跡を活かしたエコミュージアムを展開

成果

- 直売所、加工品、農家民宿等の事業収益は約8百万円から約3千4百万円と約4倍増加（H23-27）
- 農家民宿等の訪問者は約5百人から約2千人と約4倍増加（H23-27）
- 年間3万人を超える交流人口を創出、近年、アジアやヨーロッパからも訪問

子ども
(教育・体験)

雇用

6次産業化



有限会社 タマレンタ企画

小さな「シマ」から日本一の島を目指して！



民泊で修学旅行生を受け入れ



島で昔から栽培している小麦に着目し事業展開



県内の企業と提携

概要

- 修学旅行を一般家庭で受入れ、農業・漁業や島民の暮らしを体験する民泊事業を展開
- 島で昔から栽培している小麦に着目し沖縄そばの生麺加工事業に取り組み、民泊の食事に提供したほか、地元の産物の料理を提供する飲食店を開業。
- 地元小麦を使用したチップスなど新たな特産品の開発・販売や県内ビール会社と連携して、地元小麦を使用した発泡酒を発売

成果

- 民泊体験生徒数は、約2万7千人から約3万4千人に増加（H23-27）
- そばやチップスなどの小麦商品の売上げは、約4百万円から約2千2百万円と約6倍に増加（H25-27）。また、雇用が2名から17名と約9倍に増加（H24-27）
- 小麦を使用したチップスは、「離島フェア2014」において金賞にあたる優良特産品優秀賞を受賞